

## 事業事前評価表

国際協力機構  
社会基盤・平和構築部  
ジェンダー平等・貧困削減推進室

### 1. 案件名

国名：アルバニア共和国

案件名：和名 小規模農家金融包摂プロジェクト

英名 Smallholder Families' Financial Inclusion Project in Albania

### 2. 事業の背景と必要性

#### (1) 当該国における農村部の金融の現状と課題

2014年、アルバニア共和国（以下アルバニア）はEU加盟候補国となり、EUスタンダードを目指した構造改革は一定の進展を見せている。同国のマクロ経済は安定しており、近年までは年率6%前後のGDP成長率を達成していたが、2014年はギリシャ等近隣国の経済危機の影響もあり、年率約2%のGDP成長率と成長が頭打ちとなっている<sup>1</sup>。2015年以降、経済成長率は持ち直しつつあるが、現在も国民の約14.3%が貧困状態にあるアルバニアは依然としてヨーロッパで最も貧しい国の一つであり、農村部においては、都心部への人口流出の影響もあり、経済基盤の安定化が課題となっている<sup>2</sup>。

アルバニアの農家の多くは家族組織による小規模農家である。同国ではこれら小規模農家の経済・生計基盤の確立が課題となってきたが近年の欧州各国での出稼ぎ労働需要の減少に伴う海外送金の減少を受け、その重要性は益々高まっている。小規模農家の生計向上にあたっては、生活領域（教育費等）・ビジネス領域（農業、非農業共）双方の金融サービスが重要である一方、農村部は小規模に点在していることから、既存の金融機関にとってはサービスを提供するコストが高く、農村部への支援は限定的である。このため、同国農村部における金融機関の口座保有率は38%、融資を受ける人の割合は10%に留まる。

本事業の実施機関であるFEDinvestは、同国農村部において金融サービスを提供するほぼ唯一の金融機関であり、1992年に世界銀行の支援によって設立された貯蓄信用組合連合を前身とする貯蓄信用協会である。FEDinvestは同国農村部の約3分の1の地域に対して金融サービスを提供しており、2017年現在約4万人の協会会員数を2020年には10万人とすることを目標としている。FEDinvestは現在普通預金と農業関連の融資を主な事業として行っているが、アルバニアにおける金融包摂を推進する為には、会員や潜在的会員の多様なニーズに対応した商品・サービスを提供できる商品開発能

<sup>1</sup> 世界銀行 World Development Indicators 2017

<sup>2</sup> 世界銀行 Financial Inclusion Data 2012

力及び事業体制の強化が求められている。

#### (2) 当該国における貧困削減政策と本事業の位置づけ

アルバニア「経済並びに農村開発国家戦略計画(2013-2017年度)」では金融包摂の役割に関して、「銀行部門は十分な融資を行っていない」とし、一方で「その他の金融機関市場は規制、監督、提供されるサービスの質の点で著しい改善を必要とする」とされている。そのため、「融資を提供する機関及びノンバンクその他の金融機関の支援及び農村開発の為に銀行の設立を支援する」ことを目標に定めており、本事業は上記の計画に合致し、その目標達成に資する。

#### (3) 貧困削減に対する我が国及び JICA の援助方針と実績

我が国の対アルバニア国別開発協力方針では、均衡ある持続可能な経済発展に向けた支援を基本方針としており、「均衡ある発展プログラム」では地方間格差是正を目的とした貧困率の高い地方での民間セクター開発に係る支援を行うことを掲げている。これまでにアルバニアで行われた「アルバニア国マイクロファイナンス・セクター基盤強化支援情報収集・確認調査」では農村部の人々のニーズに即した金融・非金融商品の開発の必要性が指摘されており、同調査で行われた政府関係者のワークショップにおいても、金融包摂関連機関の能力強化のニーズが確認された。本案件は、金融包摂関連機関の能力強化を通じた小規模農家の金融包摂促進を目標としており、対アルバニア援助方針及び関連調査結果と合致する。

同分野における主な実績は以下の通り。

- フォローアップ協力「アルバニア国農業協同組合育成」(2016)
- 専門家派遣「アルバニア国農業協同組合育成」(2014)
- 「アルバニア国マイクロファイナンス・セクター基盤強化支援情報収集・確認調査」(2015-2016)

#### (4) 他の援助機関の対応

カウンターパート(C/P)である FEDinvest に対し、以下のプロジェクトが実施中。

支援機関：オランダ政府、東南ヨーロッパ基金、ラボ国際アドバイザーサービス  
(RIAS:Rabo International Advisory Services)

プロジェクト名：アルバニア農村部の経済発展に寄与する金融サービスの改善プロジェクト(以下「RIAS プロジェクト」)

実施期間：2016年11月～2019年11月

実施予算：1,493,914ユーロ

### 3. 事業概要

#### (1) 事業目的

本事業は、貯蓄信用協会 FEDinvest の活動地域において、金融商品・非金融サービ

スの新規開発、既存商品の改善と活動地域の拡大を行い、会員による金融商品・非金融サービス活用の促進を図り、もってアルバニアの小規模農家の生計向上に寄与するものである。

(2) プロジェクトサイト／対象地域名

FEDinvest の活動地域全域(一部活動はパイロット地域、パイロット支店を選定する。また、プロジェクト期間中に新たに拡大される地域も含む。)

(3) 本事業の受益者 (ターゲットグループ)

直接受益者 : FEDinvest プロジェクト担当部局及び支店の職員

間接受益者 : 商品・サービスが提供される小規模農家である FEDinvest 協会会員、協会会員家族

(4) 事業スケジュール (協力期間)

2017 年 10 月から 2021 年 9 月 (計 48 ヶ月) (予定)

(5) 総事業費 (日本側)

5.04 億円

(6) 相手国側実施機関

担当省庁 : 経済開発・貿易・企業省

実施機関 : FEDinvest

(7) 投入 (インプット)

<日本側>

- ・ 専門家:6 名程度(総括、金融包摂、農業関連非金融サービス、ニーズ調査、業務調整／研修企画、IT システム調査などを想定。その他必要に応じて IT、金融分野等の短期専門家など)
- ・ 本邦研修及び国内あるいは第三国研修に係る費用
- ・ 供与機材 :  
ブランチレスバンキングに必要な機材及びソフトウェア  
その他農業ユニットや FEDinvest に対する必要機材

<アルバニア国側>

- ・ 担当部局、担当者の任命
- ・ FEDinvest 本部及び支店 (必要に応じて) における執務スペース
- ・ 金融商品・非金融サービスの展開に係る事業運営コスト
- ・ 国内研修に係る費用 (交通費等)

(8) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境に対する影響/用地取得・住民移転

①カテゴリ分類：C

②カテゴリ分類の根拠

「JICA 環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）上、環境への望ましくない影響は最低限であると判断されるため、カテゴリCに該当する。

2) ジェンダー平等推進・平和構築・貧困削減

ジェンダー分類：ジェンダー活動統合案件

本案件では、プロジェクト活動の一つであるニーズ調査において、男女双方のニーズを踏まえ、その後の活動を計画する予定としていることから、ジェンダー活動統合案件とする。

貧困分類：貧困対策案件

本案件はアルバニア農村部の小規模農家を対象にしており、多くは貧困層であることが想定されることから、貧困対策案件と分類される。

3) その他

特になし

(9) 関連する援助活動

1) 我が国の援助活動

2. (3) のとおり

2) 他ドナー等の援助活動

2. (4) のとおり、実施機関である FEDinvest に対し、RIAS がプロジェクトを実施中である。RIAS プロジェクトは ①FEDinvest のコアバンキングシステムの調査と改良案の提案 ②中小零細企業(SME)向けビジネス開発（融資等）を主としているが、本事業との連携可能性は以下のように考えられる。

本事業では、成果1の活動の中で FEDinvest の既存会員、潜在的会員に対して詳細なニーズ調査を行う予定であり、調査を通じて得られた情報を基に金融商品・非金融サービスの開発・改良に着手することが想定されている。SME 向けビジネスの開発においては、本ニーズ調査の結果を参照することで、適切な商品の開発が可能になることが考えられるため、本プロジェクトによる調査の結果が活かされることが期待される。

また、本事業では、成果3においてブランチレスバンキング及びソフトウェア強化による FEDinvest の事業運営地域と提供サービスの拡大を目指している。RIAS プロジェクトによりコアバンキングシステム(CBS)の調査がすでに行われており、2017年10月には必要な改善案が提案される予定であるため、成果3では、調査結果を参照し調達機材等を検討することが想定される。

## 4. 協力の枠組み

### (1) 協力概要

#### 1) 上位目標

アルバニアの小規模農家の生計が金融包摂を通じ向上する。

(指標)

収入、支出（保健・教育等）、資産レベル（例：預金口座残高）に関連する指標\*が改善する。

\*指標の対象は、本プロジェクト成果1に係る活動で実施されるニーズ調査の対象となる小規模農家を想定している。

#### 2) プロジェクト目標

アルバニアの小規模農家の金融包摂がFEDinvestの金融商品・非金融サービスの活用により進展する。

(指標)

1. 金融商品を活用する既存及び新規のFEDinvest会員の数が、ベースライン調査時と比べてX%増加する。

2. 非金融サービスを活用する既存及び新規のFEDinvest会員の数が、ベースライン調査時と比べてX%増加する。

#### 3) 成果

成果1：FEDinvestの商品開発能力の向上により改善あるいは新規開発された金融商品が、協会会員に活用され始める。

成果2：非金融サービスを提供する農業部門がFEDinvest内に設立される。

成果3：FEDinvestがブランチレスバンキング及びソフトウェア強化により対象地域を拡大して、金融商品・非金融サービスを提供する。

## 5. 前提条件・外部条件

### (1) 前提条件

- ・ FEDinvestが必要な人材をプロジェクトに配置する。

### (2) 外部条件（リスクコントロール）

- ・ アルバニア農村部の経済状況が大幅に悪化しない。
- ・ FEDinvestの活動がアルバニア経済開発・貿易・企業省やその他の関連機関に支持される。

## 6. 評価結果

本事業は、アルバニアの開発政策、開発ニーズ、日本の援助政策と十分に合致しており、また計画の適切性が認められることから、実施の意義は高い。

## 7. 過去の類似案件の教訓と本事業への活用

アルバニア「マイクロファイナンス・セクター基盤強化支援情報収集・確認調査」(2015-2016)では、中央政府の協力体制強化の重要性が確認されていることから、本事業ではプロジェクト立ち上げ当初から経済開発・貿易・企業省及びアルバニア中央銀行との連携体制の構築を行う。また、本事業では、他の金融機関への「クラウド・イン効果」(あるいはデモンストレーション効果)を目指すことから、FEDinvest 以外の金融機関やその他関係省庁へ適切に広報活動及びプロジェクトの説明や研修への参加奨励等を行う。

## 8. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる主な指標

4. (1) のとおり。

(2) 今後の評価計画

事業開始 6ヶ月以内 ベースライン調査

事業終了 3年度 事後評価

以上